新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム
第 10 回ワークショップ事後アンケート　集計結果

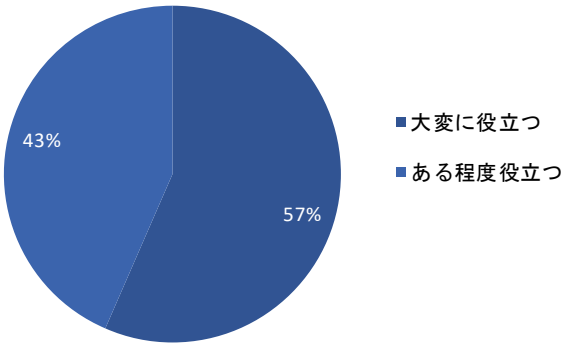
2023 年 12 月
公益財団法人　全日本科学技術協会

このたびは、「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」第 10 回ワークショップにご参加くださりありがとうございました。
JAREC は、これからも必要な感染対策など「PREPAREDNESS」について考え、広域・産学官連携してのネットワーク構築の「場」として、ワークショップを開催して参ります。
つきましては、本アンケートへのご協力をお願い致します。
*　アンケート結果につきましては、匿名化処理等を行い、個人が特定されない形で JAREC の HP に掲載いたします。

事後アンケート（回答総数　23 名）

1．基調講演についてお伺いいたします。
基調講演Ⅰ　「下水疫学調査によるコロナ感染動向の把握に向けた取り組み」
北海道大学　大学院工学研究院　環境工学部門　准教授　北島　正章　氏
3-1　北海道大学の北島先生には、自治体において感染状況を示す指標の一つとして活用される下水疫学データについて解説頂き、下水中ウイルスの高感度検出技術 の実用化に向けた取り組みについて解説頂きました。講演内容は、皆様の業務や疑問点の解決などに役立ちましたか。

	回答数	構成比
大変に役立つ	13	57%
ある程度役立つ	10	43%
あまり役立たない	0	0%
役立たない	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	—
計	23	



＜その他の意見＞
・　非常に興味深い講演をありがとうございました。コンセプト良く実用性あると思いますが、平時からの予算確保と必要性の維持が課題かなと思いました。
・　今後の展開についても、詳しいお話が聞きたかった

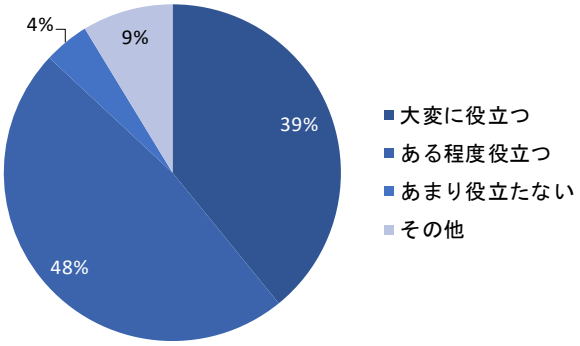
1-2　具体的にどのような業務や疑問点の解決などに役立ちましたか（「役に立たない」と回答された方は、その理由をお聞かせください）。
・　本市で行っている下水サーベイランスの参考になった
・　下水濃縮方法を検討するにあたって大変参考になった。

・ サンプリングをいつやるか、どの程度やるかが難しいように思われました。また施設個別対応もどのように選定するか、対策はどうするか考えないといけないように思われました。
・ データのしっかりした蓄積があること。また、関連行政機関とも連携を開始していること。是非、日本全体に広げて欲しいです。また、外国の取り組みも少しお話がありましたが、もう少し伺いたかったです。
・ 将来性が期待される。
・ 下水サーベイランスを含め、感染症対策にも資する環境データベースの設計・構築の参考になった。
・ 感染症発生動向調査の担当をしているが日々の業務から定点把握のデメリットを感じる中で、今後の感染症の発生を捉えるにはとても有用(検査に行かなくてもトイレ洗面所には行く)と感じた。
・ 調査の具体的な方法がわかり、■■県でも何らかの形で取り組められないか模索したい。
・ 下水分析の有効性が示されたことから、他の用途にも裾野が広がるから。
・ 全国の活用状況などがわかった。
・ 自施設で下水からの病原体検出（新型コロナウイルス含む）に取り組むにあたり、先行事例として非常に有益な情報を得ることができた。

1-3　その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。
・ 下水道の管轄自治体が行政地区そのものか、異なる場合もあり、対応にはご苦労があるように思います。北海道では多分、道ではなく、札幌市などが管轄。しかし予算は道が多く持っているようです。大阪も、京都なども一緒と存じます。
・ ■■市でも行っていますが、定点感染者報告数と下水サーベイランス推定値の隔たりが大きくなっている。解釈として、潜在性感染者（無症状病原体保有者）が多くなっているのかどうかが知りたいところです。
・ SARS-CoV-2 以外の感染症に関する下水サーベイランスの活用の可能性についても、詳しく聞きたかった。

基調講演 II「RNA ウイルスの変異と新興感染症：世界感染拡大のメカニズムと備え」
厚生労働省　国立感染症研究所　病原体ゲノム解析研究センター　主任研究官　佐藤　裕徳　氏
3-4　国立感染症研究所の佐藤先生には、 新興ウイルス感染症の発生に共通する特徴 について触れながら、新興感染症の発生と感染拡大のメカニズムについて解説頂きました。講演内容は、皆様の業務や疑問点の解決などに役立ちましたか。

	回答数	構成比
大変に役立つ	9	39%
ある程度役立つ	11	48%
あまり役立たない	1	4%
役立たない	0	0%
その他	2	9%
無回答	0	
計	23	



＜その他の意見＞

・ 凄く勉強になりました。ありがとうございました。
・ データが少し古かったように思います。

1-5　具体的にどのような業務や疑問点の解決などに役立ちましたか（「役に立たない」と回答された方は、その理由をお聞かせください）。

・ 参考にはなったが保健衛生部局ではないので
・ 感染症対策を考えるための基礎知識として大変役立った。
・ 国立感染症研究所のセミナーでも講演を聞いたことがあり、あまり新鮮味はなかった。
・ 100 年に一度と言われてきた新感染症が数年に一度の頻度になる、という理由の説明が分かりやすかった。
・ 直接は研究分野として関係のない話のため。
・ 知識が増えた。
・ 感染症サーベイランス事業でウイルス検査等を実施しており、RNA ウイルスの特徴を学ぶことができた。また、分子レベルでの解析技術を知ることができ、大変勉強になった。

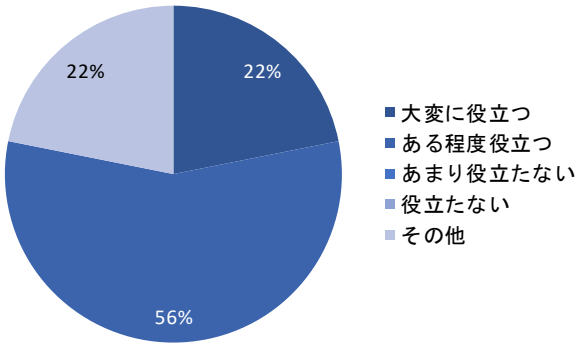
1-6　そのほか、ご意見・ご感想等があればお聞かせください。

・ 保健所単位（2 次医療圏）レベルでの予測ができるようなものがあるといいのですが。

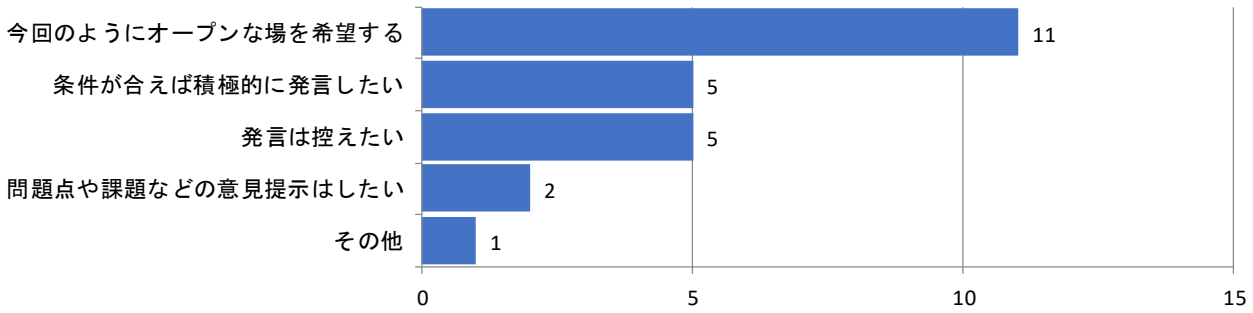
２．ワークショップについてお伺いいたします。

2-1　ワークショップでは、ご参加の皆さまからのご質問や課題について意見交換を行いました。ワークショップの内容は、皆様の業務や疑問点の解決などに役立ちましたか。

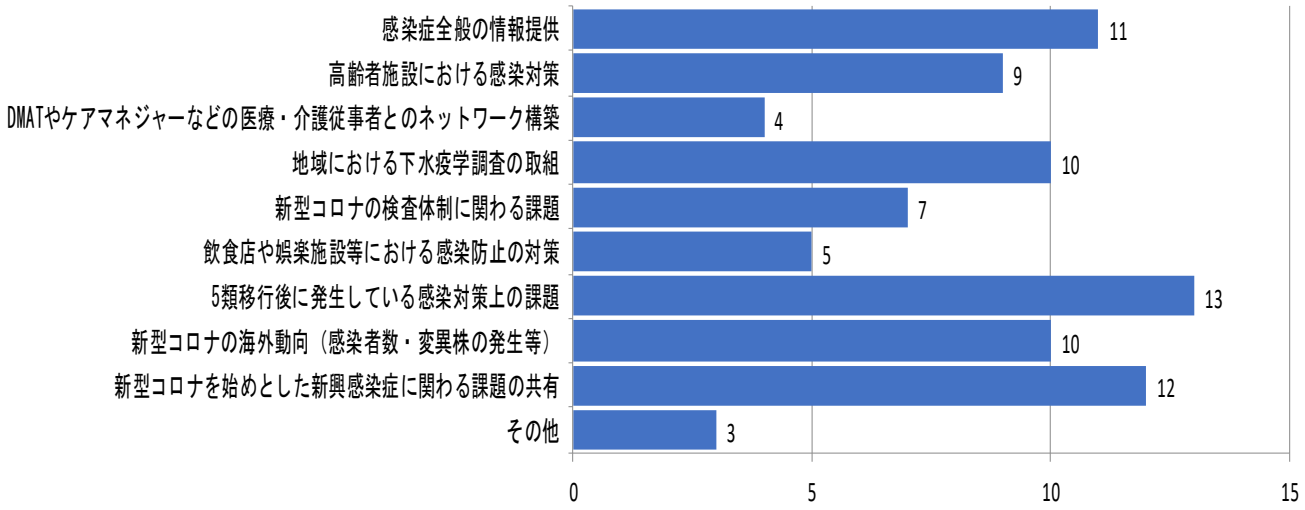
	回答数	構成比
大変に役立つ	5	22%
ある程度役立つ	13	56%
あまり役立たない	0	0%
役立たない	0	0%
その他	5	22%
無回答	0	—
計	23	



2-2　今後のワークショップの開催形態について、当てはまるものにチェックして下さい（複数回答可）。



2-3　今後のワークショップで議論したいテーマについて、当てはまるものにすべてチェックして下さい（複数回答可）。



2-4　その他、ご意見・ご感想等があればお聞かせください。

- 私自身は今回参加できませんでした。聴講の機会があればお知らせください。代わりに参加した者からの意見感想としては、大変有意義な時間・内容だった。なかなかこのような機会がないので、大変有意義だったと聞いていますのでお伝えさせていただきます。
- 海外での取り組み事例や、国際的な標準化に関する動向を知りたい。
- 立場や業務内容が近い他自治体の方のディスカッションは、今後の業務への取り組みを考えるための参考になった。

3．ワークショップ全体を通してのご感想やお気づきの点などがございましたら、以下へご記入ください。（自由記述・全角 200 文字以内）

- 自治体参加者の場合、情報収集のため、担当者が聴講のみで参加している場合が多くございます。申し込みの際、事前に発言可否を選択し、議論において指名するかどうかを司会の方が判断できるフォーマットとしていただけると助かります。今回の参加を経て、次回以降の参加のハードルがかなり高いものとなりました。
- 今回発言を求められましたが、発言できる状況ではなかったので無反応となってしまい申し訳ありませんでした。
- 今回、初めて参加させて頂きましたが、大変勉強になりました。ありがとうございます。

4．JAREC は、今後もワークショップの開催を予定しております。次回以降の開催に際して、希望する講演や事例紹介などのご要望等がございましたら、ご意見をお寄せ下さい。
（自由記述・全角 200 文字以内）

- 下水サーベイランスを含め、海外の事例や動向が知りたい。
- 将来の健康危機事例に備えるため国、自治体、地方衛生研究所がそれぞれどのような体制作りを目指すべきかを考えたい。

以上